

株主の皆様へ 第89期第2四半期のご報告 (2017年4月1日~2017年9月30日)

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

現在、当社グループは、中長期経営計画『V2020』で掲げているあるべき姿を目指し、全力で取り組みを推進しております。

当期は、そのPhase2の最終年度にあたり、三大チャレンジの下、各施策を着実に実施することで目標達成を目指しております。また、同時に、変化する経営環境に対応すべく新理念を制定し、2017年3月に発表しております。ニッタは変化に挑戦し、力強く前進してまいります。

株主の皆様におかれましては、これから変わっていくニッタに、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2017年12月

に っ た も と の ふ
代表取締役社長 **新田 元庸**



■中長期経営計画『V2020』Phase 2

ソフトマテリアル“複合化技術”のグローバルNo.1パートナー

View of the World

価値創造し続けられる者のみが生き残る“適者生存”

Phase2の三大チャレンジ

① 新事業・新製品の創出

『社員みなアイデアパーソン』

次世代に繋ぐ
新事業のタネを創出する

② グローバル化の推進

『世界どこでもニッタあり』

市場のグローバル化に伴い、
更に積極的な展開を進める

③ トータルコスト競争力の向上

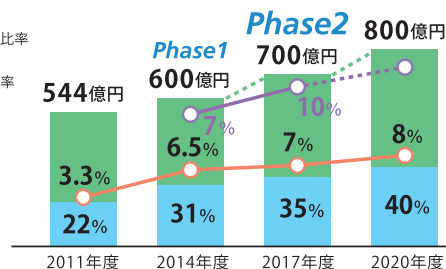
『シンプルかつスピードアップ』

全社で業務効率UPに取り組み、
より創造的な仕事を!

業績目標(連結)

■『V2020』達成目標

■ 売上高
○ 新製品売上比率
○ 営業利益率
■ 海外売上比率



トップインタビュー

基本理念を共有し、グループ

Q.1

まず、本年3月に制定・発表された新NITTAグループ理念についてお聞かせください。

現在、当社グループを取り巻く経営環境は、国内・海外市場とも堅調に推移しており、着実な成長が期待できるかのように見られます。しかしながら、もっと大きな視点で見れば、新興国産業の発展、技術革新による代替製品の登場、AI・IoTの進展による新たな産業構造の出現などにより、経営環境は著しく変化しております。「ニッタも変わらなくてはならない」大きく産業構造が変革されていく中で、今までの延長線上では、成長は限定的であり、持続的成長は期待できないかもしれない。この思いを基に次の100年を見据えて、今春発表したのが、新NITTAグループ理念です（詳細についてはP3をご覧ください）。

当社グループは、この新理念のグループ全役職員への浸透を進めており、まずは価値観の共有に力を入れております。この共通価値観をベースに、ニッタのいたるところから明日への挑戦を始めてまいります。

Q.2

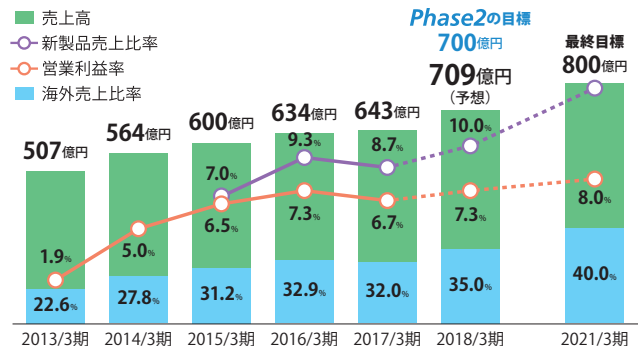
新理念制定の中、当期は中長期経営計画『V2020』のPhase 2の最終年度にあたりますが、その進捗はいかがでしょう。

現在のところ概ね順調に進んでおります。Phase2で掲げておりました三大チャレンジの内、「新事業・新製品の創出」につきましては、グループ内におけるNIC（ニッタイノベーションクルー）プロジェクトを中長期的視点で継続的に推進しております。一方、新事業創出では、M&A・事業継承などの手法を活

用し、本年5月に浪華ゴム工業株式会社を100%子会社化して医療分野などの成長が期待できる新分野を強化いたしました。また7月には、東洋ゴム工業株式会社グループの化工品事業の継承について株式譲渡契約書を締結し、本年12月に株式取得を予定しております。この事業継承においては、ゴム・樹脂をベースにした技術プラットフォームでのシナジーが期待されます。

次に「グローバル化の推進」については、生産設備の増強を図りながら、海外需要を確実に取り込むとともに、事業の現地化を進めております。最後に「トータルコスト競争力の向上」につきましては、Phase2より展開しております「1/2運動」が社内に浸透し、流れが定着してきております。上記のような状況の中で、Phase2当初に掲げました目標数値につきましては、概ね達成できる見込みです。また、来期より中長期経営計画『V2020』のPhase3に入りますが、現在、その計画を策定中であり、Phase2での三大チャレンジを継続し、それぞれの戦略をファインチューニングしていく予定です。

■業績トレンド及び目標数値



一丸となって、目標達成を目指す。

Q.3

そのような取り組みの中で、当第2四半期累計期間の業績はいかがでしたか。

当期間の状況といたしましては、米国での緩やかな景気の拡大、欧州での景気回復の継続、中国をはじめとする新興国での景気拡大傾向などにより、世界経済は堅調に推移いたしました。国内経済につきましても、為替の安定もあり輸出関連企業を中心に業績改善が進み、回復基調を歩んでおります。こうした中、当社グループの主要需要先では、国内における物流業界や半導体製造装置関連などでの旺盛な需要、海外においては、北米・中南米での自動車・物流業界向けの堅調な需要、更にアジ

ア地区における半導体業界向けの旺盛な需要が続きました。この結果、当期間の売上高は前年同期比14.0%増の364億7千7百万円となりました。また、損益面につきましても、中期経営計画達成のための先行投資がありましたが、各収益項目において増益を達成いたしました。このような状況下、下期においても更なる売上高・利益の積み増しを図り、通期業績において過去最高の更新を目指してまいります。

なお、当第2四半期末の1株当たり配当金につきましては、前年同期比1円増配の27円を実施いたしました。

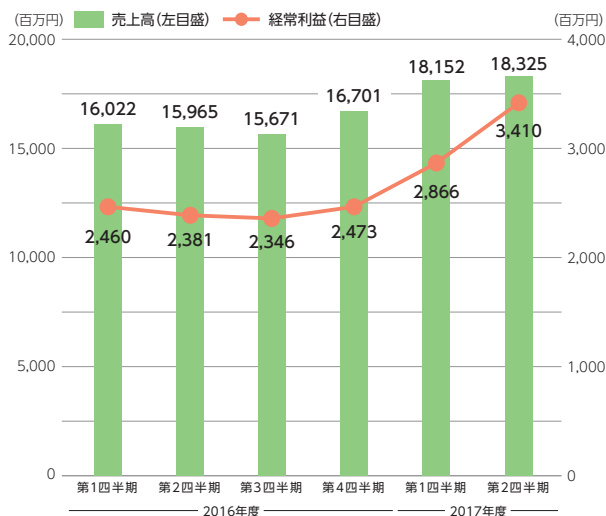
Q.4

最後に株主の皆様に向けたメッセージをお願いします。

“もっと積極的に大胆にやろうよ”。いま、ニッタは2020年度のあるべき姿「ソフトマテリアル“複合化技術”のグローバルNo.1パートナー」の実現を通じ、持続的な成長を目指しております。この礎となるものが、新理念に基づくブランディングであり、成長の原動力となるものが上記に記されたコア技術とその応用による、新製品・新事業の創出です。Phase1.2を通し、この新しい収益機会の創出は、一定の成果を上げつつあります。

また、真の企業価値向上を目指し、多様性の尊重、働き方改革なども進め、社員の自己実現にもコミュニティとしての役割を果たしてまいります。そして、株主還元の充実を始め、全てのステークホルダーとの良好な関係作りにも努めていきます。産業構造が大きく変革する中、ニッタは大胆に変わってまいります。

■売上高と経常利益の推移



次のステージを目指し

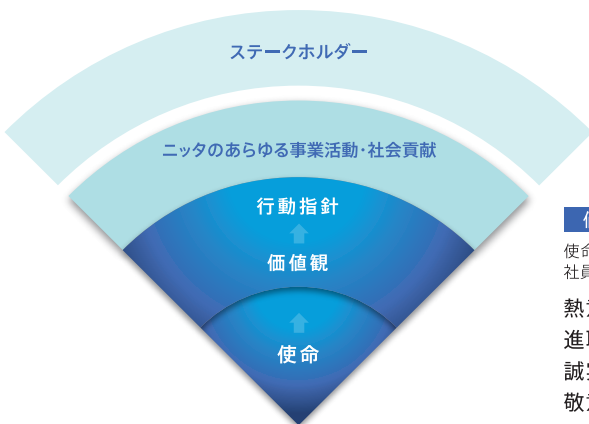
新理念の下、ブランド戦略を推進

使命

社会・お客様に対するNITTAグループの役割

Going ahead with you

NITTAは動かす、未来へ導く製品で。
世の中を前へ、そして人々を幸せに。



価値観

使命達成のためにNITTAグループ社員が持つべき考え方

熱意 Passion
進取 Innovation
誠実 Integrity
敬意 Respect

行動指針

使命達成のためにNITTAグループ社員が取るべき行動

情熱をもって挑戦し、変化を起こしつつける
柔軟な発想とものづくりで、未来を切り拓く
ひたむきに取り組み、お客様の期待を超える
互いを尊重し、グローバルに社会や環境に貢献する

■背景と新理念 そして、今

当社グループは、『発明・改良・円満』の創業者理念の下、130余年の歩みの中で、「お客様と社会に役立つことをしよう」を意識し、産業界・社会へ貢献してきました。こうした中、時代とともに産業構造は大きく変化し、当社グループ人員の約4割を海外が占めるようになってきました。こうした背景の下、変化への挑戦とグループの団結の礎として新理念を制定しました。現在当社グループは、この新理念の理解と浸透を図るためにインナーブランディングに取り組んでおり、ポスター、全館放送、唱和を始め、この9月からは本支店・工場・子会社でブランドセミナーを実施しています。また、「BRAND BOOK」を全社員に配布するとともに役員自ら海外に出向き理念体系の

共有を進めています。ブランド戦略は、激変する経営環境の中で競争優位な戦略的ポジションの獲得に重要であり、利益の確保や社員の求心力を高め、総合的な企業価値向上につながります。現在はインナー向けの施策を中心としていますが、今後は、対外的な「ブランドスタイル」を統一し、ニッタのブランディングを広く社会に浸透させていきます。



BRAND BOOK

『V2020』の実現に向けて 三大チャレンジを加速

NITTA CORPORATION

Phase2で展開している三大チャレンジは、
中長期経営計画『V2020』の期間を通じた基本戦略でもあり、その取り組みを加速させています。

① 新事業・新製品の創出

浪華ゴム工業株式会社の完全子会社化

この度、浪華ゴム工業株式会社を完全子会社化しました。同社は成長が期待される医療分野に強みを持ち、血液循環回路のモジュールなどの製品を製造しています。当社グループはこの子会社化により、新しい製品・新しい販路を開拓し、浪華ゴム工業とともに需要の拡大を目指しています。

名 称	浪華ゴム工業株式会社 (NANIWA RUBBER CO.,LTD)
本 社・工 場	〒635-8520 奈良県大和高田市曾大根2-6-1
創 業	明治39年2月11日(1906年)
設 立	昭和23年5月29日(1948年)



プラスチック製医療機器

食品工場向けロボットハンドの開発

新製品の創出に関しましては、コア技術を基に、基礎的研究・応用技術の開発を進め、製品化に努めています。この一例がこの度のロボットハンド「SOFTmatics (ソフマティックス)」です。深刻な人手不足の食品工場ではロボットの導入は喫緊の課題です。しかし、実際には、それはなかなか進んでいません。その原因は多様な形状の食品具材を器用に把持できるハンドがほとんどないことです。「SOFTmatics」は、当社のソフトマテリアル複合化技術と空圧機器技術を使い、[不定形,バラバラ,つぶれやすい]ワークを[優しくつまむ/包むように持つ]を製品コンセプトに開発されています。現在いくつかの食品工場でロボット導入の実証試験に採用されており、人手不足解消の切り札として期待されています。



ロボットハンド

② グローバル化の推進

NITTA CORPORATION OF AMERICA 第2工場 竣工

子会社のNITTA CORPORATION OF AMERICAが事業を展開する北南米市場では物流業界等の需要が旺盛で、これに応えるために2016年3月より第2工場の建設を進めていました。本年7月に完成し、竣工式を執り行いました。竣工式には取引先や関係者の方々にご参加いただき、その後行われた工場設備の見学会も盛況でした。当社グループは、北米以外でもタイ・メキシコなどで生産能力の増強を図っており、グローバル化を一段と進めています。



竣工式の模様



第2工場外観

③ トータルコスト競争力の向上

「1/2運動」を継続して展開

2015年より始めた「1/2運動」は、社内に定着してきており、この活動によって生み出された時間をよりクリエイティブな仕事に使うことで、企業価値の向上を進めています。



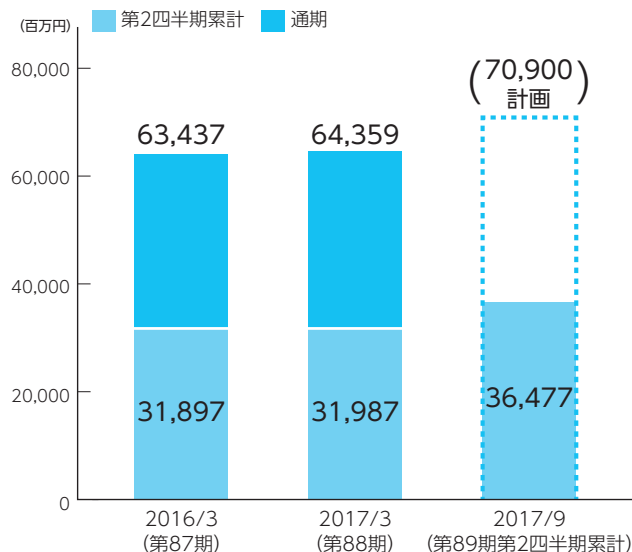
発表風景

連結財務ハイライト

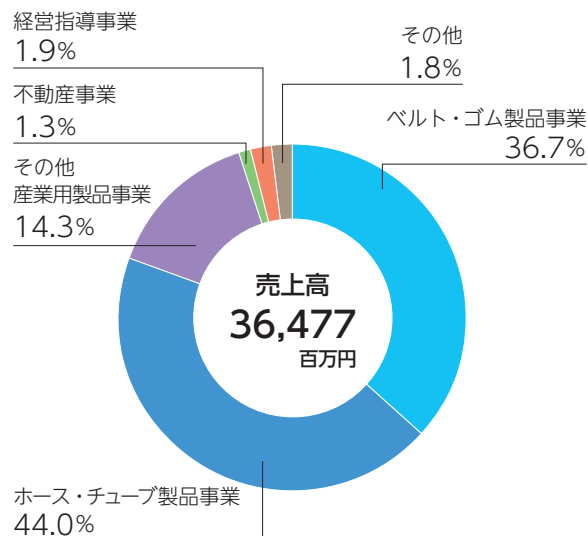
(百万円)

	2016/3 (第87期)	2017/3 (第88期)	2017/9 (第89期第2四半期累計)
売上高	63,437	64,359	36,477
営業利益	4,599	4,288	2,873
経常利益	10,532	9,660	6,276
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益	8,486	7,886	4,883
1株当たり当期(四半期)純利益(円)	292.27	271.26	167.80
総資産	106,182	112,344	119,353
純資産	85,969	91,247	95,944

■売上高の推移



■セグメント別構成比 (第89期第2四半期累計)



■会社概要

社名	ニッタ株式会社 (NITTA CORPORATION)
創業	明治18(1885)年3月
設立	昭和20(1945)年2月
資本金	8,060百万円
従業員数	2,418名(連結)

■役員

取締役及び監査役の体制

代表取締役社長	新田 元庸
取締役	西村 修
取締役	井上 一美
取締役	芳村 恵司
取締役	石切山 靖順
取締役	小林 武史
取締役(社外)	菅 充行
取締役(社外)	中尾 正孝
常勤監査役	藤田 浩治
常勤監査役	井上 清孝
監査役(社外)	正殿 博章
監査役(社外)	森本 三義

執行体制

社長	新田 元庸
常務執行役員	西村 修
常務執行役員	井上 一美
執行役員	小林 武史
執行役員	芳村 恵司
執行役員	石切山 靖順
執行役員	滋野 隆広
執行役員	島田 晴示
執行役員	篠田 重喜
執行役員	吉田 隆彦

■主要子会社

- 株式会社パワーテクノ
- 関西化工株式会社
- ニッタテクノ株式会社
- 協和工業株式会社
- モリミツ株式会社
- 浪華ゴム工業株式会社
- NITTA CORPORATION OF AMERICA
- NITTA CORPORATION OF HOLLAND B.V.
- NITTA INDUSTRIES EUROPE GmbH
- NITTA MOORE Mexico S. de R.L. de C.V.
- NITTA CORPORATION OF SINGAPORE PTE LTD.
- 韓国ニッタムアー株式会社
- 霓達(上海)企業管理有限公司
- 霓達摩尔科技(常州)有限公司
- 霓達精密伝動(常州)有限公司
- 台湾霓塔股份有限公司

■関連会社

- ゲイツ・ユニッタ・アジア株式会社
- ニッタ・ハース株式会社

■株式の状況

会社が発行する株式の総数	100,000,000株
発行済株式総数	30,272,503株
株主数	3,628名

■大株主

新田ゴム工業株式会社	2,842,052株
アイビーピー株式会社	2,301,000株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,462,800株
合同会社オンガホールディングス	1,430,500株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,379,700株
JP MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	1,083,300株
ニッタ取引先持株会	964,000株
GOLDMAN, SACHS & CO.REG	637,240株
ニッタ共栄会	585,400株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	549,400株

※当社は自己株式1,014,609株を保有していますが、上記の大株主からは除いています。

株主メモ

NITTA CORPORATION

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか、必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記の電話照会先までご連絡ください。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所（郵便物送付先）	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先） （インターネットホームページ）	☎ 0120-782-031 http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【特別口座について】

株券電子化以前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いします。

単元株式数	100株
公告の方法	当社のホームページに掲載する。 (http://www.nitta.co.jp/ir/index.html)
上場金融商品取引所	東京証券取引所

お問い合わせは、下記までご連絡ください。
〒556-0022 大阪市浪速区桜川四丁目4番26号
ニッタ株式会社 総務CSRグループ
TEL.06-6563-1211 <http://www.nitta.co.jp/>



本誌は、FSC 認証紙と植物油インキを使用しています。
本文には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

株主優待制度のご案内

当社では下記の株主優待制度を実施しております。

当社株式を長期間保有いただいている株主様には、そのご支援にお応えすべく、「長期保有株主様向け優待制度」を設けております。何卒、よろしく願い申し上げます。

■対象株主

毎年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主様

※優待品は例年11月上旬より順次発送致します

■優待内容

グループ会社製品および北海道の特産品

①保有期間3年以上の株主様

長期保有の株主様への優待制度

※毎年3月31日及び9月30日の株主名簿に、同一の株主番号で連続7回以上記載されていること

100株以上 : 3,000円相当

1,000株以上 : 6,000円相当



優待品例(6,000円相当)

②保有期間3年未満の株主様

100株以上 : 1,200円相当

1,000株以上 : 3,000円相当

※優待内容につきましては、予告なく変更されることがあります。予めご了承ください。